

確申・還付

# 令和 年度 市民税・府民税 申告書

(令和 年分所得) [ ] [新規・増・減・増減なし]

申告書番号
-------

(あて先) 八尾市長

令和 年 月 日提出

受付印

住所 (1月1日の住所) ※八尾市外に居住されていた場合は裏面(6)へ 八尾市	(現住所) □同左
氏名 (生年月日)	年 月 日
個人番号	

◇すべての項目に記入してください。  
 「職業」については、無職の場合は「なし」と記入してください。  
 個人番号については、申告書の提出の際、マイナンバー確認書類と本人確認書類が必要です。

申告する方 申告する方(窓口に代理人が来る場合は代理人)の氏名及び続柄を自筆してください。	住所 年 月 (就職・転勤・退職・開業・廃業)
続柄	資料番号

★源泉徴収票、各種領収書などは添付台紙に貼ってください。

前年中(令和 年1月1日~12月31日)に所得がなかった方等の記入欄

甲 下記の者の扶養又は援助を受けていた。	乙 下記に該当する非課税の所得であった。	丙 その他(生活状況等をご記入ください)
住所 氏名 続柄	遺族年金 障害年金 雇用保険 生活保護	

収入金額等	事業 営業	営農	配給	公業	短長
	事業 営業	営農	配給	公業	短長
所得金額	事業 営業	営農	配給	公業	短長
	事業 営業	営農	配給	公業	短長

◇甲・乙各欄に該当する方はそれぞれの欄に必要事項を記入してください。  
 遺族・傷病・障害年金等受給の方は該当の番号に○(金額の記入は不要)をしてください。  
 ◇甲・乙各欄に該当しない方は、丙欄に生活状況(例:貯金で生活等)を具体的に記入してください。

## 所得から差し引かれる金額に関する事項

13 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類	損害金額	保険金等で補てんされる金額	差引損失額のうち災害関連支出の金額
14 医療費控除	A 支払った医療費等		B 保険金等で補てんされる金額		C 総所得金額等の5%又は10万円	
15 社会保険料控除	D 国民健康保険料		E 後期高齢者医療保険料		F 介護保険料	
	G 国民年金保険料		H 源泉徴収票の記載金額		I その他( )	
17 生命保険料控除	J 新生命保険料(一般)		K 新個人年金保険料		L 介護医療保険料	
	M 旧生命保険料(一般)		N 旧個人年金保険料			
	O 地震保険料		P 旧長期損害保険料		J~P欄は支払額を記入してください	

本人該当	19 寡婦・ひとり親控除	20 勤労学生控除	21-1 障害者控除
配偶者特別控除	死別 離婚 未婚 その他	(不労所得10万円以下かつ合計所得75万円以下の人) □(学校名)	身体 療育 精神
同一生計配偶者特別控除	配偶者の氏名	生年月日	続柄
24 扶養控除	氏名	生年月日	居住形態
	個人番号	個人番号	個人番号

◇あなたがひとり親、寡婦、障害者、勤労学生に該当する場合や、扶養親族がおられる場合は記入してください。  
 扶養親族と別居されている場合は、裏面(12)別居の扶養親族等に関する事項についてもご記入ください。  
 ※障害者の場合は障害者手帳、勤労学生の場合は学生証の提示またはコピーを同封の添付書類台紙に貼ってください。また、扶養親族のマイナンバーの記載もお忘れなくお願いします。

個人番号確認欄

本人	扶養
----	----

【市民税課処理欄】ここから下の欄は記入しないでください。

調整控除	控配	扶養	16歳未満	扶養障害	本人障害	寡	勤	均のみ	住民税	生活区分
有	老	定	同	老	他	特	他	特	他	特
1	2					1	2	1	2	1
加工 転記欄	145 生保			147 地震						480,000

シカ配同老他同特他定16歳									
加工	131 住借額	160 可能額	159 住借残額						
取得内容	5%・8%・10%								
居住年	H	R							